

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

秋の火災予防運動について

第六分団長

期間 平成十四年十一月九日より

平成十四年十一月十五日まで

防火標語

全国統一標語

消す心 置いてください 火のそばに

塩釜地区統一標語

まかせなさい 家族みんな

火の用心

一、最近では放火が多くなっていることから放火用心を一つの重点事項としております。

二、期間中老化解消器、不要消化器の一斉回収を行います。

回収日時 十一月十日(日)

午前十時～十二時

場所 多賀城消防署内 (有料)

多賀城市スポーツクラブ

大代地区老壮年スポーツ教室

「はじまる」

次回日程は

十一月六日 (火) ゲームとダンス

十一月二十日 (火) ニュースポーツ

十二月四日 (火) ゲームと銭太鼓

時間は毎回

十三時三十分～十五時まで

皆さんお揃いで

大代公民館へおいで下さい。

多賀城市市民スポーツクラブ

老壮年委員会

あいさつは心のふれあい

出会った人と あいさつしましょう

お問い合わせは

多賀城市総合体育館

三六五一一九一一



貞山運河清掃作業の御礼

環境美化部

作業を終えて、よくもこんなに集まるものだと感心するやら、あきれやら、いつも奉仕いただく柴さんの軽トラックに山ほど積んだゴミ、空き缶、中には自転車や古タイヤまで。

早朝六時より皆様には本当にご苦労様でした。三々五々隣近所の方々と挨拶を交わし乍ら参加してくれる皆様方、大代コミュニティ協議会の趣旨に賛同下さいまして深く感謝申し上げます。

事故があつては大変と自転車で一回りあつちでもこつちでもゴミ袋を一ぱいにした方々とお会いし本当にご苦労様の一言に尽きます。どうぞ事故もなく終了して下さい事を念じての一回りでした。

尚 毎度お二人で手伝って下さる公民館の方々には、深甚なる感謝の意を表します

大代地区スポーツ大会の報告

スポーツ大会実行委員長

去る十月十四日体育の日大代地区緩衝緑地公園内で行われた大代地区スポーツ大会は朝から好天に恵まれ八月下旬の暖かさで参加者も例年になく三百五十名程の多数でした。

今年は今までは内容を変わって行われましたが事故もなく終始和やかに進められ大成功に終了出来たことはひとえにご参加下さった皆様のご協力ご支援のお陰と厚く感謝申し上げます。

競技種目は、グラントゴルフ、障害物リレー、ラケットリレー、二人三脚、長なわとび、地区対抗リレー、未就学児童走、の七種目で競われました。

結果は総合優勝大代東区、準優勝大代北区、また地区対抗リレーの優勝は男子は大代東区、女子は大代北区でした。最後に今回の大会実施にあたり準備段階からお世話下さいましたみなさんに厚くお礼を申し上げます。

俳句

大代西 松浦 富男

縄文の豪族の古墳狗尾草

銀河の尾蔵王の嶺に届け

つばの碑に真昼の蝗飛びつきぬ

つばの碑の秋は白雲よりととのう

葬列の悲愴の斑猫導きぬ

笠神 本郷 勝子

青栗の転がりいでの七曲がり

雨煙る蝦夷竜胆の濃紫

雲飛で夏の終りの蔵王嶺
赤蜻蛉頂上までの道づれに
蟋蟀擬や夜のしじまに鳴疲れ



恵愛ホームです

外気がさえ渡り、木の葉が色づく季節になりました。早いもので今年もあと二ヶ月。朝夕はだいたい肌寒くなってきました。皆様お変わりありませんでしょうか。

恵愛ホームの夏祭りも、地域の皆様のご協力のもと無事に終了し、今は秋ならではの「芋煮会」を楽しんでおります。今年は何人かのグループに分かれて加瀬沼公園へ出かけました。

お天気にも恵まれ、薪を燃やして、鍋を煮立たせ、秋晴れの空の下で食べるアツアツの芋煮はなかなか美味しいものでした。行楽シーズン、皆様はどのような「秋」をお過ごしになりましたでしょうか。

ホームでは十一月からインフルエンザの予防接種が始まります。健康管理には充分気をつけ、元気に寒さを乗りきりたいものです。

ご祝儀 お見舞いは 三千元を限度にし お返し物はしないうようにお互い気を配りましょう

シベリヤの回想 九

大代南 後藤 清一

全く暑い。連日の暑さでか皆無口だ、今日は久しぶりの入浴ができそうだが、暫くの休息仮眠がすっかり寝込んでしまった。

集合に遅れガイドの迎えを受ける。クレドール駅を二十時三十分発の列車でテイルマに向けて移動となる。

当然車中泊まりか、此処での作業は飢えと寒さそして重労働の三重苦にさいなまれ、苦しみの中で無念の死を遂げた同胞の死体を野辺送りするのが私の日課でした。二人ペアで五組程で毎日稼働した筈です。

想えば昭和二十年暮れから翌二十一年春にかけて驚く程の死者でフル回転で搬送したのを、今もはっきりと覚えている。看とる肉親もなく、只簡単に打ち捨てられていったのです。事故死、病死を問わず死体はすべて、解剖されたのでした。

解剖台の周りにはロシアのインターン、若い看護婦、関係者が囲みノートにメモをとる異様な光景に唾然とし、これこそ死者に対する冒瀆でなくて何だろう。当然執刀するのは同じ捕虜の軍医さんでした。

抑留者日本人の大量死が始まると、ソ連の中央から指示がでたとか、埋葬の仕方、墓穴の形態、墓所の手入れなど、など……兵は下着姿で葬る。

個別の墓に埋葬、士官は完全な着衣で、だが収容所の所長、病院長達はそんな指令はおかまいなし、部下達にぶん投げろと命令した。上官はそんな事は知っても知らんふり、山や河にただ投げ捨てられあちらこちらに死体の山ができた。そんな友の姿に明日の自分の姿を重ね合わせ只恐ろしく身の毛がよだつ想いが今も忘れる事が出来ない。何時になつたら忘れる時がくるのであろうか。

慣れないねっとりとした酸っぱい黒パン、薄い魚の煮汁のようなスープで生かされ、この穀つぶし共めと、どやされやがて歯はガタガタ、視力もおかしい、こんな事では遅かれ早かれ必ず死んでしまう。なぜ殺してしまわないのか、それに帰国させなかつたのは何故か、日も改まり三日目となる。まもなく八時三十分だ、下車の準備を始める。空の天候が怪しい。今にもきそうさ。

現地への移動時間だと言うのに。

次回に

育成と愛情を

大代東 本郷新治

最近若い人たちの無分別な言動がよく問題になっております。もちろん彼等自身にも反省を要する点がありますが、責任の半分は世の先輩といわれるべき人、すなわち親や教師、上司や年長者にもあるのではないのでしょうか。

人はみな先人から学び、それを受け継いで社会的にも、精神的にも成長していくのです。それでは、現在の先輩といわれる人たちは、後輩の成長に誠実に配慮し、その責任を果たしているのでしょうか。

たとえば企業内でも、部下の成長に無関心なのか、自信がないのか、口やかましい上役と言われたくないのか、叱るべき時に叱らず、言うべきことを言わない上役がいます。

一方後輩たちの中にも、部下の行動にあまり干渉しない上役を、ものわかりのよい上役と思っている人がいるようです。

しかしこんな甘い、無責任な先輩、ひ弱な後輩の環境のもとでは、決して精神的な成長も発展もありません。

ところで、厳しさと直言というものは、いかに誠意があり、本人のためを思っ

てなされても、簡単に受け入れられないことが多いようです。しかしやがて社会にもまれ、人生の転機に突き当たったときには、必ずや先輩の直言、苦言がよみがえってくるものです。

最近では主体性とか自主性の尊重という、自ら自分の道を切り開いていいますが、その背景には、先輩の後輩に対する深い配慮や人間性への信頼と激励が存在している事を忘れてはならないと思います。

コミュニティ

グラントゴルフ

参加者の再集募

申し込みを忘れていた人のために再度申し込みを受け付けます。

特に、小学生、中学生、高校生、そしてお父さん、お母さんの参加を大歓迎致します

■日時 十一月九日(土)

午前九時三十分集合

午前十時開始

※雨天の場合は中止

■場所 緩衝緑地公園

(東側東屋付近に集合)

■申込 大代地区公民館

十一月五日締め切り

■主催 大代地区コミュニティ推進

協議会体育部

■後援 大代グラウンドゴルフ愛好

会

《川 柳》

大代西 藤田遊子



丸腰の羊ナメてる白イトラ

リストラを隠して今朝も靴を履く

ジン飲んで客を待たせるパイロット

オシッコをかけて逃げ去る油蟬

ノック知事ノックアウトで幕を閉じ

★「月夜のメルヘン9」は紙面の都合により休載いたしました。(広報部)